

RPA 導入で従業員の主体的なデジタル活用を促進 年間 7,280 時間分の業務を自動化

フジテック株式会社（本社：滋賀県彦根市、社長：内山 高一）は、働き方改革の一環として RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を導入し、従業員主体の開発で 2021 年 6 月までに年間 7,280 時間分の業務を自動化しました。今後もデジタル技術を活用した働き方改革を進めるとともに、従業員にとって働きがいのある職場づくりを目指します。

【 導入のポイント 】

- ✓ ルーティンワークの自動化を目的に 2019 年 10 月に RPA を導入
- ✓ 昇降機の事業部門を中心に 23 部門で 68 ロボットが稼働
- ✓ 87%のロボットを、自動化する業務の担当者が主体となり開発
- ✓ IT 部門が業務担当者にオンライン研修会を実施し、開発をバックアップ
- ✓ 業務担当者が開発することで実務とのミスマッチを防止

【 導入による効果 】

- ✓ 従業員の IT リテラシーを高め、業務改善における主体的なデジタル活用を促進
- ✓ 年間 7,280 時間分の業務を自動化
- ✓ 創造的で付加価値の高い仕事に専念できる職場づくりに寄与

当社の働き方改革について

当社は 2014 年から IT を活用した働き方改革に取り組んでいます。モバイルツールやクラウドサービスを活用した業務支援により、働く場所や時間にとらわれない、安全で快適な働き方の実現を目指しています。

営業、保守、据付工事などの従業員が外出先で業務を完結できる IT ツールの開発や、在宅勤務時にオフィスと同様に業務できる環境作りなど、生産性向上や多様な働き方への対応に取り組み、働きがいのある職場づくりと会社の持続的な成長に貢献します。

【 本件に関する報道機関からのお問い合わせ 】

フジテック株式会社 広報室

TEL : 03-4330-8233 FAX : 03-4330-8220